

## 御杖村立御杖中学校の耐震診断結果を公表します。

学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場として、豊かな人間性育むための教育環境として重要な意義を持つことから、その安全性の確保は極めて重要です。また、地域の方々にとっては地震等の災害発生時の応急避難場所となるなど、地域の防災拠点としても重要な役割を担っています。

このような状況を踏まえ、本村では建築基準法の新耐震設計基準(昭和56年)以前に建築された学校施設の耐震診断を実施し、耐震補強が必要と認められた施設の補強を行いました。

なお、御杖小学校の施設については建築が新しいので、耐震性があります。

つきましては村民の皆様と情報を共有するため、これまで実施してきた耐震診断結果を公表します。

今後とも、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

○耐震診断結果一覧表

学校名	施設名	構造	建築年月	階数	面積(m <sup>2</sup> )	診断年度	工事前		工事後		備考
							Is値	q値	Is値	q値	
御杖中学校	校舎	鉄筋コンクリート造	S40.3	3	2,642	H11	0.43	0.54	0.75	0.80	H20補強済
	体育館	鉄骨造	S41.7	1	658	H18	0.29	0.56	0.81	0.91	H21補強済
	特別教室棟	鉄骨造	S40.3	1	371	H18	0.32	0.61	0.76	1.40	H23補強済

※対象となる建物は非木造で、延べ床面積が200m<sup>2</sup>以上です。

・Is値(構造耐震指標)：第1次または第2次診断の結果、建物の粘り強さに形状や経年等を考慮して算出される指標で、その最小値を表記しています。

【Is値の目安】

- Is値0.3未満 → 大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- Is値0.3以上0.6未満 → 大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- Is値0.6以上 → 大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※文部科学省は、Is値0.7以上を「耐震性がある建物」として取り扱っています。

※大規模な地震とは、震度6強から震度7程度の地震を想定しています。

・q値(保有水平耐力にかかる指標)：第2次診断の結果、算出される建物が水平方向に受ける力に耐えられる力の指標を標記しています。

【q値の目安】

おおむね1.0以上を目標としています。